

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう

第 49 号

会 報

黄 菊



2023年 1 月



公益社団法人八戸市シルバー人材センター

青森県八戸市類家四丁目 3 - 1 福祉公民館内

電話 0178-44-6448 FAX 0178-44-6478

令和五年の新春を迎えて

理事長 前田 洋子



新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様におかれましては、つつがなく穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は会員の皆様及び関係各位の温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナの国内流行から三年経ちましたが、全国的に行動制限が緩和され旅行支援もあり観光地の人流も増えている様子を見られます。そのため感染者数は増加しています。新型コロナウイルス感染症がどういふ形で収束するのか見当もつきませんが、ただただ早く収まって欲しいと念じるだけです。

今後とも、感染防止のため、自重してお過ごし下さるようお願い申し上げます。

今年こそはコロナ禍前に実施していた行事やボランティア全て実施したいものです。

会員の集いで会員の皆様と親しく話したい、『生き生きまつり』では市民の皆様センターの活動をPRしたい、ボランティア活動で会員の皆様と一緒に汗を流したい、日帰り旅行では次の活動の糧となる所に行きたい。グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会で皆様と楽しみたい、感染状況を見ながら何とか出来るところから実現したいと思ひます。

さて、わが国では少子高齢化が進み、労働人口の減少が懸念される状況が続いており、高齢者の労働力とシルバー事業への期待が高まっております。

人手不足の大事な担い手としてシルバー人材センターはこうした地域社会の要望に応えるべく努めていかねばと思ひます。そのためには、シルバー事業の意義をご理解いただき、経験豊富な会員が知識と能力を生かして就業していることを大いにPRしていきたいものです。

本年も会員の皆様、役員及び関係各位におかれましては、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます、新年のごあいさつと致します。



公益社団法人
八戸市シルバー人材センター

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

■役員

理事長
常務理事
理事

前田洋子
山谷哲也
直江洋一
田畑紀子
蟹沢英元
近藤武城
山岸勝紀
佐々木敏雄
小笠原直道
田茂直道
松田利造
松山利夫
船橋利夫

監事

■事務局

事務局長
業務課主任
庶務課主任
業務課主任

山谷哲也
西村龍也
三浦協子
堀内美江
名久井勇磨
大橋佑弥
西田陽平
相内佑利
中村明彦
中村美津子
下沢結衣
菱事結衣

今年は何年！

○「卯」（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」また、その跳躍する姿から、「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。2023年は「癸卯」、「癸」という字は生命や物事の終わりと次の生命が成長し始めている状態を意味しているということ、これまでの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍する年になると考えられています。

今年の年男・年女となる会員の皆様から、6名の方々に右記のテーマでお話を聞きました。



- ① 趣味、特技、最近のマイブームなど
- ② 昨年うれしかったこと、楽しかったこと
- ③ 新年の抱負、挑戦したいことなど

工藤 柁季（尻内班）

昭和十四年生まれ

- ① 盆栽いじり、七宝焼きで装飾品、七宝焼き絵の制作等です。健康とグループ活動では、グラウンドゴルフを楽しんでいます。
- ② 東京、大阪の生活が長く八戸へ戻り二十数年、会員として夏の暑さ、初冬の寒さにも負けず健康で庭木の手入れをし、お客様に喜ばれ感謝です。
- ③ 今年こそ永年出来なかつた盆栽の植替えや成形など、七宝焼きにも力を入れてみたい。

阿彦 のり子（市川一班）

昭和二十六年生まれ

- ① 花が好きで玄関に鉢植えを飾ったりしています。
- ② 趣味ではないですが、町内の婦人会で防犯のために町内の見回りをしています。
- ③ 弘前に嫁いでいる姪がコロナでなかなか会えない中でも「元気にしてる？」と連絡をくれること。
- ④ 健康を保ちつついつも通りに仕事を続けていけたらいいかな、あとはコロナが落ち着いたら弘前の姪の所へリンゴの収穫の手伝いに行くこと。

佐藤 強一（大館三班）

昭和十四年生まれ

- ① グラウンドゴルフが趣味です。最近是一年ごとにシルバーの大会で一つづつ順位が下がっているのですが、今年は順位を上げられるようにしたい。
- ② 自分も家族も大きな病気もなくこの年まで健康で働けていることが何よりうれしいことです。
- ③ 機械いじりが好きで、パソコンを操作したり、映画や音楽を楽しんだり。健康を維持して楽しく働きたい。

熊谷 祥生（大館五班）

昭和二十六年生まれ

- ① 書道、読書（欧米の本格推理小説ファンである）、ウォーキング、政治や社会問題に切り込んだ韓国ドラマの視聴。
- ② 退職翌日から日課にしているウォーキングで、地球一周に相当する四万キロを踏破した。十年八か月を要した。
- ③ 健康に留意し賞状筆耕を続ける。自分史執筆に着手する。未読のアガサクリステイの代表作七冊を原書で読む。

木村 サワイ（河原木三班）

昭和十四年生まれ

- ① お庭いじりが好きで色々な花を植えたり草取りをしたり、きれいにしてお眺めています。
- ② シルバーのお友達から声を掛けていただいて、時々草取りに行くことです。
- ③ 健康でいること。庭をいじったり、田んぼの仕事を続けたい。それでいつか孫と旅行に行きたい。

山内 秀知（桜ヶ丘一班）

昭和二十六年生まれ

- ① 日曜大工で様々なものを作ったり、オーディオ機材やカメラなど集めるのも好きです。
- ② 営業の経験は無かつたけどシルバーの仕事で様々な経験をさせてもらい新しいことにチャレンジ出来て嬉しいです。
- ③ 人生七十歳からが大人だという言葉を教えて貰った事があります。ゆとりをもつて皆さんの話を聞きながら仕事を続けていきたい。

投稿広場 ～川柳編～

新しい1年を明るく楽しくスタートして頂きたく会員の皆様から川柳を募集して、今回応募してくださいました会員の皆さんの作品を掲載させていただきました。楽しい作品を応募していただきありがとうございました。

☆草取りや
寝床追われた蚊に刺され
☆ジジババか
マスクのにおいかいでみる
☆「おい」「おまえ」
一度でいいから名で呼んで
☆日向ぼっこ
隅っこ暮らしの老いふたり
是川二班 山中 光江

☆シルバーで
旅立つ前のひと奉仕
☆古希迎え
いまだ現役シニア族
☆花道は
働ける今シルバーで
☆へそくりは
自力本願シルバーで
河原木二班 根崎 久雄

☆楽しみを
探して年を重ねてる
☆おみくじを
東んで帰る嬉しさよ
大館六班 石橋 栄子

☆不善為す
暇があるならシルバーへ
☆シルバーの
安かる悪かるいまむかし
☆老兵も
去るのみあらずシルバーへ
☆ご褒美に
一品増やす支払日
南郷班 冷水 春男



☆令和の時代
八戸の発展シルバーが土台
☆物価高
上がらぬ年金減るビール
☆高齢者増えて
お国の対策税のみ上げる
☆御前様
コロナよりこわい〇〇の顔
河原木一班 藤原 光國

会員互助会 活動紹介



菊苗配布
どの苗がいいかな～

昨年十一月五日（土）から十一月七日（月）まで第五十一回となるはちのへ菊まつりが「八戸ポータルミュージアムはっち」と「マチニワ」を会場に開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症防止の観点から、ステージイベントは中止となりましたが、多くの方が会場に足を運んでくださいました。

会員有志の皆様が育てた菊花が展示され、会場を華やかに彩りました。

はちのへ菊まつり



菊祭り菊花展示

グラウンドゴルフ大会

第三十三回会員互助会グラウンドゴルフ大会が、昨年十月十五日（土）に新井田公園にて開催されました。三十三名の会員が参加し、新型コロナウイルス感染症の影響により三年ぶりの大会ということもあり、秋の肌寒い曇り空も吹き飛ばすような勢いで試合は大いに盛り上がりました。

総合優勝は前回大会に続き石橋久志会員が二連覇を果たしました。



女性の部上位入賞者



男性の部上位入賞者



ホールポストまでもう少し！

同好会会員募集中！

☆手作り同好会 わの会

毎週木曜日 九時～一五時
八戸市地域職業訓練センター
手芸好きが集まり和やかに過ごしています！

☆踊り同好会 すみれ会

毎週水曜日
一三時三〇分～一五時三〇分
八戸市地域職業訓練センター
踊り好きならどなたでも大歓迎！

☆名所めぐり同好会

年に二～三回名所を訪ねています。
小さな旅と一緒に古里の魅力を再発見しませんか？

☆ボウリング同好会

【日時】毎週火曜日 一〇時～
ゆりの木ボウルで活動中
ボウリングで親睦と健康増進！

☆グラウンドゴルフ同好会

四月～一月
新井田公園
毎週水曜日 一三時～一五時
一二月～三月
八戸市屋内トレーニングセンター
毎週金曜日 一一時～一三時
未経験者の方も大歓迎です！

ボランティア活動

シルバー人材センターでは様々な場所でボランティア活動を行っております。今年度はコロナウィルスの影響により中止になったボランティア活動もありましたが、実施した活動をご紹介します。



公園班ボランティア



草刈り班ボランティア



庭木班ボランティア



コラム

「ただ空があるだけ」

毎日のようにNHKの深夜放送を聞いている。二時から三時まで日によって分野を変え、クラシックだったり、ポピュラーだったり、世界の名曲が流れる。三時から四時になると日本の曲が流れる。民謡、童謡、演歌、浪花節と様々な分野の曲が流れる。時には聴講者の投稿が読まれるが、意外と高齢者の方が多いのには驚く。そんな時、「おつ、仲間が居るな。」と思うが、私は投稿したことがない。

時は春、数十年前は四時になると、出漁する小型漁船の赤玉エンジン音が、「ポンポンポン」と軽やかで規則正しく朝風にのって響いてくる。まるで鼓の音のようで実に心地よい和音だった。

しかし、その赤玉エンジン音は今ではもう聞こえない過去の遺物となつてしまった。文明は音まで奪っていった。六時には、十王院の鐘声が響いてくる。

湊の聖地として尊ばれてきた上野山に、十王堂が鎮座してた



ことから、十王院が建立された。十王は、人が死して冥府に行つたとき、娑婆でした罪の裁断を行う。それによって来世の生所が定まるといふ。その十王の中に人類で最初の死者である閻魔王もいる。

その昔、ダンテがヴァーギルに案内されて地獄の門をくぐる時、そこに書かれていたという制札「この門に入らんとする者、一切の希望を捨てよ」まさに同様の制札が十王庁の入口にもあるのだろうか。十王院に限られたことではないが、日本の仏教に当てはめる訳にはいかない。心安らぐ事に鐘声に合わせたよ

うに、フクロウが鳴くことがある。「ホウ、ホウ、ホウ」と鈍重で、どっしりとした単純な声である。いや、あれはフクロウではなく仏法僧に違いない。その方が情緒、趣がある。その姿はフクロウみたいにも毛並みがふつくとした鳥ではなく、カケスに似ているという。鳴いても見つけるのが難しい怪しい鳥で、仏法僧という字並びから、三宝鳥ともいわれている。

鐘声で日本全国にその名声を響かせているのが、天台宗寺院派の本山で近江八景とされている「三井寺」（滋賀県大津市）がある。八景の中で、三井の晩鐘という名で知られ「七景も霧に隠れて三井の鐘」と芭蕉もその実感を歌っている。この晩鐘から伝わってくる鐘声はこの地方の人々の心に染み込み、生活リズムを与えていたのだろうと想像させる。それと同様、十王院の鐘声も漁夫、農夫の人々に長い間親しまれ、安らぎを与えていた事だろう。重低音でコブシの効いた親しみを感じる声である。

諸行無常を告げるあの鐘声は

初七日を裁断する泰広王、五十七日の閻魔、三周年の五道転生の王ら十王たちが、「十王、十王。」と叫々する戒行の言かもしれない。
心安らぐ言葉として、臨濟宗の巨峰、白隠禪師は言う、「天国もなければ地獄もない。そこにはただ、空があるだけ。」

(記 湊一斑 勝野 司)



コノハズク

仏法僧鳥は鳴き声が「ブッポウソウ」と聞こえることから名づけられましたが、後にその鳴き声はコノハズクの鳴き声と判明しました。



仏法僧鳥

シルバー人材センターでは会員を募集しています!

八戸市内にお住いの概ね60歳以上で、健康で働く意欲のある方のご入会をお待ちしております。



シルバー人材センター
マスコットキャラクター
『チエブクロー』

- ・退職したがまだまだ現役!
- ・働けるうちは働きたい!
- ・仲間や友人を作りたい!
- ・社会参加し、生きがいを見つけたい!
- ・健康維持・体力増進を図りたい! など

豊富な知識と経験をセンターで活かしませんか?
ご入会をご希望の方、または話だけでも聞いてみたいという方は、下記までお問い合わせください。

公益社団法人八戸市シルバー人材センター

八戸市類家四丁目3-1 福祉公民館内

電話 0178-44-6448

FAX 0178-44-6478

会員の
皆様へ

奥様やご主人、お知り合いの方のご入会もお待ち
しております!是非、ご紹介ください!

計 報

大館三班	三浦	清様
青葉・諏訪班	太田	良光様
白銀二班	一沢	武弘様
下長一班	小林	正雄様
田面木班	根岸	富雄様
青葉・諏訪班	佐々木	豊様
下長二班	我妻千津子様	
是川一班	奥寺	光春様
市川二班	鈴木	孝義様
湊二二班	大西喜一郎様	

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。



表紙について

寒い冬を過ごしていると、春の温かい風が待ち遠しくなりま
すね。

表紙は八戸公園の敷地から八
戸市内を撮影した写真です。

八戸公園のきれいな桜と青空
に囲まれた八戸市内、桜の季節
に一度八戸公園からこの景色を
見に行ってみてください。

(撮影者 江陽一班 畠山 勝則)

編集後記

皆様、明けましておめでとうご
ざいます。

さて、今年は比較的穏やかな
年明けとなりましたが、会員の
皆様はどのように新年を迎えら
れましたでしょうか。

世の中は少しずつ形を変え以
前の活気を取り戻しつつありま
す。当センターも新型コロナウイルス
イルス感染防止の為実施できな
かった活動が出来るよう、来年
の会報ではたくさんの方の報告がで
きればと思っております。

(普及啓発委員一同)